

## 優秀賞

味真野小学校5年

 金吉実紹さん

●研究テーマ

## 新聞紙 vs ぼく

## 動機

資源回収などで集めた新聞紙はリサイクルされてトイレトペーパーなどになると社会の授業で習った。ある日父が新聞のインクをとかす薬を作っている会社があると教えてくれた。ぼくの家でもリサイクルに挑戦しようと思った。

## 内容

まず水につけインクがとれるかためした。しかし少ししかとれなかったため、他の液体でもためした。インクがうすくなる事はあったが、完全にとれる事はなかった。インクをとる方法はないかと、新聞紙をまぜていたら白い繊維ができたので「インクをとる」ではなく「新聞紙から白い繊維をとる」という考えで実験することにした。

新聞紙を白い繊維がまざっている液体にすることはできた。しかしその中には黒い新聞のかけらもまざっていたため、白い繊維だけを取り出す方法を考えた。

- ①白い繊維がまざっている液体をざるでこし、ざるにひっかからなかったものをさらにコーヒーフィルターでこす方法
- ②スポイトで白い繊維だけをすう方法
- ③白い繊維がまざっている液体をペットボトルに入れてこおらせ、上にたまった白い繊維のところを切ってとらす方法

この中でうまく分けることができたのは①の方法だった。①の方法を使いハガキの大きさの紙をつくることが出来た。

## まとめや感想

新聞のインクは家にあるような薬品や水ではとることができなかった。新聞はすごい。初めて紙ができた時はやったーと思った。しかしぼくがやった方法では紙のほんの一部しかリサイクルできていない。それに手間もかかる。そんなことを工場ではやってられない。やはり新聞はすごい。

